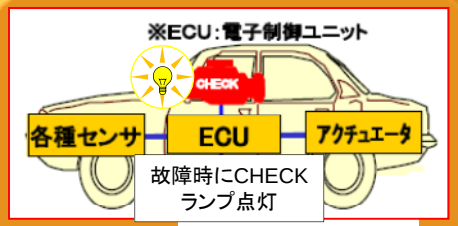
○自動車の新技術の普及に対応した整備事業の基盤強化

国土交通省

参考資料1

自動車の新技術の普及

OBD（車載式故障診断機）搭載車
ハイブリッド、電気自動車、ASV、



OBD搭載車

ハイブリッド車

電気自動車

ASV
（例：被害軽減ブレーキ）

資料：日本自動車工業会
日本自動車機械器具工業会

環境整備

自動車メーカーからの整備情報の提供

○欧米規定並の法令整備を行うべく、指針（案）のパブリックコメントを実施。（平成22年9月24日～10月25日）

スキャンツールの普及

○汎用スキャンツール普及検討会を設置し、汎用ツールの標準仕様や普及促進について検討を開始。（7月30日第1回開催）
○H22年度末とりまとめを目指す。

人材育成

研修・講習の充実

○整備情報・機器の活用促進・HV、EVへの対応のための整備事業者に対する研修の充実。

資格制度の活用

○新技術の普及状況等に応じ、今後検討。